

令和6年度 法奥小学校3年生「森林・林業教室」について

三八上北森林管理署は9月26日(木)、十和田市立法奥小学校の3年生9名を対象に「森林・林業教室」を実施しました。

森林や林業に関する学習は、法奥小学校が取り組んでいる総合的な学習の時間「みどりの学習」の一環として毎年実施しています。

例年は「ブナの森たんけん学習」と称し、実際にブナの森に行き森林の多面的な機能やそこで生きている生物の大切さなどを実際に自然に触れながら学んでいます。今年度は、熊の出没が相次いだため中止となりましたが、その代わりとして校内で「森林・林業教室」を実施しました。

「森林・林業教室」では、うんこドリルと林野庁がコラボした「森とくらし」という教材や三陸中部森林管理署が林業の流れがわかるように制作した「ZORING」というカードゲームを使用し、森林の大切さや林業の流れについて子供たちが楽しく理解できるように工夫しました。

このカードゲームを使った森林教室は、当署としては初めての取り組みでしたが、子供たちはゲームのルールをすぐに理解し、楽しそうにゲームに取り組んでいました。

質問コーナーでは子供たちは森林や林業に関して質問し、熱心にメモを取るなど積極的に取り組んでいました。

この学習をきっかけに、子供たちが森の役割、林業について理解を深め、森林をより身近に感じてくれればと思います。



〔授業の様子〕



〔ZORING プレイ中の様子〕